

その美しさは世界にも響く。

櫻山八幡宮の例大祭、

秋の高山祭「八幡祭」。



屋台曳き揃え

動く陽明門とも称される、絢爛豪華な11台の屋台行事は
ユネスコ無形文化遺産です。

高山祭は春の「山王祭」と秋の「八幡祭」の二つを指す総称で、その起源は16世紀後半から17世紀末まで遡ります。毎年10月9日・10日に行われる「八幡祭」は、旧高山城下町の北半分の氏神様である櫻山八幡宮（八幡様）の例大祭。櫻山八幡宮に揃う屋台11台は国の重要有形民俗文化財に指定されています。日本三大美祭の一つとして知られる絢爛豪華な祭は、世界でも讃えられ、山・鉾・屋台行事の一つとしてユネスコ無形文化遺産にも登録されています。



6 神馬台
雄々しい大般若が刺繍された三鱗紋の胴幕や、白馬と烏帽子姿の白丁人形が見どころ。屋台囃子は、馴染みある雅楽「越天楽」です。



7 仙人台
全屋台で唯一の唐破風屋根は、18世紀の創建時の姿を伝える形式。棟の両端を飾る極彩色の剣巻竜と祭神である白ひげの仙人人形が目印です。



8 行神台
この地にゆかりがあるとされる役の行者の人形を祀り、朱塗りの玉垣や密教の法具五鈴を飾った屋台。下段の前鬼・後鬼の彫刻も個性的で必見です。



9 宝珠台
台名に由来する金の大宝珠と雌雄の大亀を配した屋根飾りが華やかな印象を伝えます。半円楕円の窓、勾欄の宝珠など、美しい意匠もこの台の特徴です。



10 豊明台
応神天皇のご幼名豊明宮が台名の由来。屋根飾りの大鳳凰や、唐獅子をはじめ随所に配した初代・村山群鳳の彫刻が、雅な美しさを際立たせています。



11 鳳凰台
名工・谷口与鹿と弟子・浅井一之の作とされる谷越獅子は、高山祭の屋台彫刻としては最大。鍔金具や鳳凰の綴錦織、墨絵の見送り幕も彩りを添えます。



1 神楽台
11台の中で唯一屋根がないため、大太鼓、金の鳳凰などがひとときわ目を引く屋台。5人の乗人を乗せ、屋台行列を先導しながら祭の始まりを告げます。



2 布袋台
八幡祭で唯一からくり奉納を行う屋台。2体の唐子が布袋様に飛び移る離れ業をはじめ、36条の引綱を操る綱方たちが、見事な人形の演舞を披露します。



3 金鳳台
棟飾りの金の鳳凰が台名の由来です。飾り人形は、幼い応神天皇を抱いた武内宿禰と神功皇后。均整とれた姿は、初期屋台の風格を伝えています。



4 大八台
黒塗りに金具付き、直径1.56mの御所車（大八車）は高山祭の屋台の中で最大。吹抜の中段では、この組の屋台囃子「大八曲」が奏でられます。



5 鳩峯車
前面の雲龍、側面の明人遊苑図、明古渡りの見送り幕など、四方を飾る綴錦は圧巻の美しさ。美術品とも言える絢爛豪華な意匠が、秋の町を彩ります。



屋台は日本遺産

QRコードを読み込むと、各々の屋台曳行等の動画が流れます。
お願い
屋台は貴重な文化財です。大切にしましょう。屋台には絶対手をふれないようこままします。

Hitachi Social Innovation is POWERING GOOD



HITACHI Inspire the Next

高山祭協賛会/(一社)飛騨高山観光コンベンション協会/高山市
高山市役所観光課(0577)35-3145
飛騨高山観光案内所(0577)32-5328
インターネット情報 <https://www.hidatakayama.or.jp>



秋がやって来ます。
それだけでは言い尽くせない、
優美、荘厳、華麗。

令和5年10月9日(祝)・10日(火)
秋の高山祭

交通・駐車場情報 市営駐車場などの空車情報が下記にてご覧いただけます。

交通案内図 <https://www.hidatakayama.or.jp/access/>

市営駐車場満車・空車情報 <http://parking.takayama.gifu.jp/>

Hits FM [Hits FM 76.5MHz](https://www.hidatakayama.or.jp/)

当日の祭最新情報 <https://www.hidatakayama.or.jp/>



屋台曳き揃え

八幡祭では唯一、布袋台でからくり奉納が披露されます。2体の唐子が布袋様の肩に飛び移り、布袋様が軍配を一振りすると織が出てくる巧妙な仕掛けが見どころ。奉納は9日・10日とも午前と午後の1回ずつ、八幡宮境内で行われます。
※混雑の状況により、からくり奉納開始前に八幡宮境内への入場を制限することがあります。

国の重要有形民俗文化財である八幡祭の屋台11台の姿を、間近に鑑賞できる貴重な機会。彫刻や見送幕、鍔金具など、名工たちの技を存分に堪能できます。布袋台は9日・10日とも八幡宮境内に、他の屋台は表参道に曳き揃えられます。



屋台曳き廻し

屋台の動く姿が眼前で見られる曳き廻しは、八幡祭だけで見られる行事。匠の技が作り上げた構造や計算された動きの美しさを堪能できます。開催は9日午後のみで、神楽台と鳳凰台、他2台を加えた計4台が八幡宮参道北の町内を巡ります。



宵祭

夕闇に映える美しさとともに、多くの人を魅了する屋台。約100個もの提灯を灯した11台が町をゆっくりと巡ります。帰路は曳き別れ歌「高い山」を歌いながら各屋台蔵へ。9日夜、宵祭だけで見られる趣深い情景です。

側溝には「ふた」がない所や段差がありますので、落ちないように特に宵祭の際にはご注意ください。

※秋の高山祭の開催場所では、墜落など危険防止のため、無人航空機(ドローンなど)による飛行は絶対に行わないようにお願いします。※祭行事中止の場合、「神楽台」「豊明台」「行神台」「神馬台」の4台の屋台は高山祭屋台会館(入場料必要)でご覧いただけます。なお、その他の屋台は各屋台蔵での待機となります。



からくり奉納



御神幸(祭行列)

闘鶏楽や袴姿の警固など、伝統の装束をまとった大行列が、歴史絵巻さながらに町を練り歩きます。9日午後八幡宮を出発し、お昼に御旅所で祭事を行った後、町を巡り夕方八幡宮へ還御されます。

高山祭を生中継

◆Hit net TV!
(地上デジタル12ch)
10月9日(祝) 13:00頃(予定)

◆ネット同時配信
YouTube Live (からくり奉納など)
10月9日(祝)・10日(火)

祭行事催行時間

行事名	10月9日(祝)	10月10日(火)
屋台曳き揃え	9:00~17:00頃	9:00~16:00頃
からくり奉納	12:00~12:20頃	11:00~11:20頃
屋台曳き廻し	13:30~16:00頃	13:30~16:00頃
御神幸	13:20~15:30頃	8:30~12:00頃